

やってみよう！エシカル消費

エシカル消費とは？

人や社会、地域、地球環境などを考えて、モノやサービスを選択する消費行動のこと

「実はもうやっていた！」という行動もあるかも！



地元のを積極的に購入する(地産地消)
地元で買い物をする
伝統工芸品・伝統的工芸品に触れる



買う前に本当に必要かどうか考える
長く使えるもの・繰り返しつかえるもの、
環境ラベル・省エネラベルがついたものを選ぶ



フェアトレード商品を選ぶ
障害者就労施設などで作られた製品を購入する
寄付付きの製品を選ぶ
被災地の産品を購入する(応援消費)

もっと知りたい！エシカル消費

エシカル消費の具体的な取組をはじめ、
滋賀県の独自の取組や特産物などを記載した冊子を
右記の二次元コード(滋賀県HP)にて紹介しています。



滋賀県HP
(やってみよう！エシカル消費)

エシカル消費について学び、自分でもできる取組を探してみよう！

考えてみよう、商品の裏側 🔍

何気なく購入しているモノやサービスの見えない部分では、地球温暖化などの「環境問題」や、立場の弱い開発途上国での過酷な労働や児童労働などの「社会問題」が隠れている可能性があります。

どこでつくられたのかな？

環境にはやさしいのかな？

誰がつくったのかな？

などを考えて、モノやサービスを消費する（買う、使う、利用する）ことは環境問題や社会問題などを解決する重要な手立ての一つです。

私達のエシカル消費が

SDGsとMLGsの目標達成にもつながります

持続可能な開発目標(SDGs)とは



2015年に「国連持続可能な開発サミット」が開催され、2030年までに達成することを目指して17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標 (SDGs)」が採択されました。



エシカル消費が特に関係している目標は
12番目の目標 「つくる責任 つかう責任」
(目標) 持続可能な生産・消費形態を確保する

マザーレイクゴールズ(MLGs)とは



Mother Lake Goals
変えよう、あなたと私から



「琵琶湖版のSDGs」として、2030年の持続可能な社会と琵琶湖に根ざす暮らしに向けた13のゴールが令和3年7月1日に策定されました。

MLGsの取組はSDGsの達成に貢献します。

MLGsの詳細についてはこちらから
(MLGs公式WEBサイト「MLGs WEB」へリンク) →

